

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 Uターン就転職活動応援事業費(R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3683)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 32,689 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	32,689	11,821	0	0	0	0	0	0	20,868
決定額	32,689	11,821	0	0	0	0	0	0	20,868

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県では、大学進学者の8割近くが県外の大学に進学しており、そのうち愛知県の大学進学者は5割を占める。一方、県外へ進学した者の県内就職率(Uターン率)は、3割程度で、低下傾向にある。一方、職場とのミスマッチによる早期離職率が上昇しており、企業側も新卒に加え中途採用にも意欲的になっており、県内企業のUターン採用ニーズが高まっている。

(2) 事業内容

①Uターンを促す就活イベントの開催(学生向け)

県外大学に進学した県出身学生及び県外に就職した岐阜県出身者を対象に、岐阜県企業や岐阜県で働くことの魅力をPRし、学生と県内企業の交流イベントを開催する。

②県内就職をテーマとしたイベントの開催(保護者向け)

岐阜県出身学生の保護者を対象に、現在の就職活動に関する情報、県内就職の魅力発信を行う。県内企業との交流イベントを開催し、親子で県内就職について考えてもらうことで、Uターン就職を促す。

③大学キャリアセンターとの連携によるプレ就活事業の実施

協定締結大学や県出身学生が多く在籍する大学を中心に、専攻や志望の多い職種等の各大学の特性を踏まえたうえで県内企業、Uターン就職情報を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 [地域未来交付金]

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	152	プロポーザル評価委員謝金 講師謝金
旅費	474	費用弁償、業務旅費
需用費	86	消耗品費、会議費
役務費	85	通信運搬費
委託料	31,892	Uターン就転職活動応援事業委託料
合計	32,689	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）】

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 国・他県の状況

4 3 道府県がUターン対策として就職相談会や企業説明会等を開催している。

(3) 後年度の財政負担

学生や若年求職者を取り巻く就活環境に応じて事業内容を見直しながら継続的に実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

Uターン施策の観点から、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

協定締結大学、愛知県内の岐阜県出身学生が多く在籍する大学等と連携し、県外に進学した若者の岐阜県への呼び戻しを促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①県出身大学生 の県内就職率	41.1%	39.2%	46.6%	48.1%	50.0%	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	進学等により県外へ転出した大学生等のUターン就職を促進するため、県内企業の魅力を伝えるイベントを実施した。 ・就転職イベント（対面：3回、オンライン1回） ・就活準備イベント（対面：3回、オンライン1回） ・保護者向けイベント（対面：1回、オンライン1回）
令和6年度	進学等により県外へ転出した大学生等のUターン就職を促進するため、県内企業の魅力を伝えるイベントを実施した。 ・就転職イベント（対面：2回、オンライン1回） ・就活準備イベント（対面：3回、オンライン1回） ・保護者向けイベント（オンライン1回）
	指標① 目標：45.2% 実績：37.8% 達成率：83.6%
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	コロナ禍を受けて、Uターン就職への関心が高まる中、就職活動中の県出身学生等に対して、企業情報、就活情報を提供していく必要性は高く、あわせて、県内企業で働く魅力を発信することで、県外学生等の呼び戻しを図
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県出身大学生が多く在籍する大学との連携やSNS等の発信により、積極的かつ効果的に就職活動を継続している県出身学生等へのアウトリーチを行い、県内企業への就職に向けたフォローを行う必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 若者の県外流出を食い止め県内企業への人材確保を推進するために、今後も積極的にUターン就職を促進する施策を展開していく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	